

防災士取得学生の意識調査に関する研究

愛媛大学大学院 学生会員 ○中嶋友哉 愛媛大学大学院 学生会員 西優汰
愛媛大学大学院 正会員 二神透

1. はじめに

近年、愛媛県では、近い将来に発生するとされている南海トラフ巨大地震等に備え、防災士の養成に取り組んでいる。それに伴い、愛媛大学でも 2015 年に大学生向けの防災士養成講座「環境防災学」が開講され、県内 5 大学の学生が受講している。また、環境防災学の開講と同時に、防災士を取得した大学生で運営している学生防災団体「愛媛大学防災リーダークラブ」が結成された。しかし、今西らの調査¹⁾では、実際の防災活動に参加しているのは、およそ 3 割にとどまり、学生のみにと絞ると 1 割にも満たないという現状がある。二神ら²⁾は、学生防災士の防災意識が防災士の取得意思のない一般学生よりも高いことを明らかにした。そこで本研究では、学生防災士の防災意識と一般学生の防災意識に、年度による変化がないことを確認する。また、学生防災士を対象に防災意識調査を行い、防災意識の分析をすることで、環境防災学の受講に影響している要因、学生防災士の活動参加に影響を及ぼす要因等を明らかにする。

2. アンケート調査と概要

防災士取得学生については、2017 年度環境防災学受講生の 211 名であり、取得意思のない一般学生は二神らと同じく愛媛大学生 109 名のデータを採用している。

本研究では、環境防災学の講義前（6 月 7 日、7 月 18 日）、講義後（9 月 14 日）、第 3 回（12 月 11 日から 12 月 28 日）の計 3 回のアンケート調査を行った。講義前、講義後アンケートは自記式アンケート、第 3 回は Google フォームを用いたウェブアンケートの形式で行った。アンケートの設問は、地域の防災活動や防災活動に対する意識、周辺の人々への意識、居住しているまちへの意識等 34 問であり、第 3 回アンケートについては、防災活動への参加実態を含む 19 問としている。有効回答者数とその割合は、講義前、講義後、第 3 回アンケートでそれぞれ 203 名（96%）、211 名（100%）、81 名（38%）となっている。

3. 分析方法

本研究では、3 つの分析を行っている。まず、一般学生と本年度の受講生のデータから、一般学生と受講生の防災意識の差を平均値の差の検定を用いて確認する。つづいて、一般学生と過去 3 年間の学生防災士のデータから、環境防災学の受講に影響する要因を、第 3 回アンケートでの防災活動に実際に参加したか、という設問を従属変数として、防災活動の参加に影響を与える要因を、それぞれ、ステップワイズの変数増加法を用いたロジスティック回帰分析により明らかにする。なお、第 3 回アンケートにおける防災活動参加者には、愛媛大学防災リーダークラブの 7 名の回答も含めている。

3. 分析結果

まず、一般学生と受講生の防災意識の差については、全 34 項目中 28 項目で有意となり、ほとんどの項目で有意な差がみられた。有意差がみられた項目には、直接的な防災意識の項目だけでなく、住んでいるまちへの意識の項目も含まれている。続いて、ロジスティック回帰分析を用いた環境防災学の受講に影響している要因についての分析結果を表 1 に示す。6 項目が有意であるとの結果が得られた。パラメータの符号とオッズ比から、責任感の設問は一般学生へ負の影響が、その他の設問は受講生へ正の影響を及ぼしていることが分かる。また、オッズ比は影響度を表しており、値が 1 から離れるほど強い影響があるとされる。よって、活動参加実態や利他的動機、防災活動に取り組むことに、周りの人たちが肯定的だと感じる、個人規範の項目の影響が強い

という結果となった。

表 1 受講に影響を及ぼす要因

設問項目	利他的動機	防災組織加入意向	活動参加実態	責任感	対処有効性認知	個人規範
パラメータ	0.628	0.431	1.191	-0.449	0.332	0.894
オッズ比	1.873	1.539	3.290	0.638	1.380	1.714
有意水準	***	**	***	**	*	***

*:5%有意 **:1%有意 ***:0.1%有意

同様に、ロジスティック回帰分析を用いて行った防災活動の参加に影響を与えている要因についての分析結果を表 2 に示す。その結果 2 項目が有意となった。パラメータの正負とオッズ比から、利他的動機は防災活動不参加者へ負の影響が、行政イベント参加意向は防災活動参加者へ正の影響があることを示している。行政イベント参加意向では、1 から離れるほど強い影響があるとされるオッズ比が 8 を超える値となっているため、非常に強い影響があると言える。

表 2 防災活動の参加に影響を及ぼす要因

設問項目	利他的動機	行政イベント参加意向
パラメータ	-1.160	2.107
オッズ比	0.313	8.221
有意水準	*	***

*:5%有意 **:1%有意 ***:0.1%有意

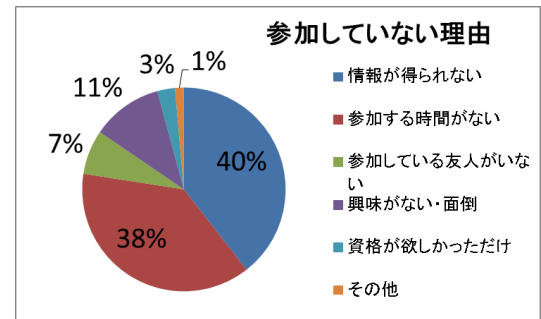


図 1 防災活動に参加していない理由

第 3 回アンケートにおいては、防災活動不参加者に不参加の理由を問う設問を設けて調査を行った。その結果を図 1 に示す。「情報が得られない」と回答した割合が最も高く、40%となっている。また、防災士の資格を取得したものの、防災活動に興味を持っていない人も 1 割ほど存在する。

4. まとめ

本研究では、防災士取得学生と取得意思のない一般学生に対するアンケート調査から、防災士取得学生の防災意識が一般学生に比べて高いことを確認した。また、防災士取得のための講義の受講に影響を及ぼす項目、取得後の防災活動の参加に影響を及ぼす項目を明らかにした。地域や身の回りの他者への意識が防災士の取得に関係しており、参加する防災活動に関しては、行政が主催している活動は安心感があり初心者でも参加しやすいということが考えられる。また、防災活動不参加の理由として、情報が得られないと回答した割合が高かったことから、情報伝達方法の構築が必要である。地域や身の回りの他者への意識が防災士の取得に影響を及ぼすことから、地域との結びつきの要因となる項目を調査することで、防災活動に参加する学生防災士を増やす方策を探ることができると考えられる。

参考文献

- 1) 今西桃子, 二神透: 地域防災リーダー指向者の防災活動参加に対する規定要因の分析, 愛媛大学理工学研究科修士論文, 2017
- 2) 二神透, 羽鳥剛史: 大学における防災士資格希望者の防災意向分析, 土木学会論文集 F6, Vol. 72, No. 2, pp. 15-20, 2016